

拉致問題の解決を求める署名②

令和元年春

「全拉致被害者の即時一括帰国を！国民大集会」



(飯塚耕一郎さん)

「これだけ多くの方々に協力していただいたということは感謝の念に堪えないところですし、我々としてもなんとか解決しなければならないという、新たな気持ちになっています。」

日本の総国民の10%近くの署名をいただいておりますが、これが民意であって、我々日本国内の世論として、この問題を本当に解決しなければいけない。我々が常に申し上げている解決の定義は「全被害者の即時一括帰国」ですので、これを絶対に外してはならないということを、今、転換期に差しかかるこのタイミングで訴えていきたいと思っております。金正恩委員長自身にも、この思いを感じていただいて、勇気ある決断をしていただければと思っております。」

(安倍晋三総理大臣)

「(署名を集めることは) そう簡単なことではなかったと思います。雨の日もあれば、風の日もある。必ずしも当時は、まだ十分な理解がない中で、子供達、家族を取り戻したいという御家族の思いで、これだけの署名を集められることができた訳であります。改めて政府として、重く受けとめたいと思っております。」



写真提供：内閣広報室

街頭で署名活動を行う御家族や支援者等

署名活動を行う御家族や支援者等は、暑い中、寒い中、時には署名板を振り払われたりしながらも、拉致被害者の帰国を求めて声を上げ続けてきました。



写真提供：救う会全国協議会



写真提供：あさがおの会



写真提供：救う会全国協議会



写真提供：埼玉県



写真提供：佐渡市